

柏市立図書館及び柏市内四大学 合同企画展・講演会のお知らせ

<柏>

2017年10月24日

柏市立図書館と市内四大学の図書館(二松學舎大学・東京大学・開智国際大学・麗澤大学)では、毎年好評を博している合同企画展・講演会を、今年も開催いたします。

柏校舎図書館では、11月11日(土)、「漱石作品の魅力-ことばの面白さを楽しむ-」と題し、本学文学部国文学科 増田裕美子教授による講演会を開催いたします。

また、図書館3階法人資料室にて、講演会関連資料と「夏目漱石-文豪が残した作品-」の展示を、併せて2階入り口展示スペースにて、「漱石と子規」をテーマに関連資料の展示を行っています。

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

◆講演会◆

日時：2017年11月11日(土) 13:10～14:40

会場：二松學舎大学 柏1号館3階 306教室

演題：「漱石作品の魅力-ことばの面白さを楽しむ-」

内容：漱石生誕百五十年の今年、新たな角度から漱石作品の魅力を探ります。漱石作品の魅力は何と言ってもことばの面白さにあります。作品の題名も『吾輩は猫である』『坊っちゃん』『それから』など、漱石ならではのことばの工夫がこらされています。漱石はことばの持つ意味やイメージの多様さに敏感な作家でした。そのような漱石のことばのセンスを様々な作品の中に見ていきます。またヒロインの造形とことばとの関わりについて、『草枕』『三四郎』などを取り上げてお話しします。

講師：本学文学部国文学科 増田裕美子 教授

定員：先着100名(事前申し込み制) 入場無料

申込・お問合せ：電話またはカウンターにてお申込みください。

二松學舎大学附属図書館(柏) 電話 04-7191-8758

《講師紹介》

増田 裕美子(ますだ ゆみこ)本学文学部教授

東京大学教養学部教養学科卒業、東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専門課程修士課程修了。文学修士。専門は比較文学。最近のテーマは、夏目漱石を中心とした日本文学の研究。万葉集や平安朝の古典から現代文学までを通時的に眺め、西洋文学や芸術との関連も探る。著書に『漱石のヒロインたち-古典から読む』(新曜社、2017年)など多数。論文に「時の流れのなかの人生-『倫敦塔』を読む-」(『比較文学研究』第101号、2016年6月)など。

